

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)SVH厚木南センター店新築工事	階数	地上3F
建設地	厚木市酒井字長町1601番4,戸田字沖1番7	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	4,220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	物販店,飲食店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年3月29日
敷地面積	22,649 m ²	作成者	株式会社組東京本店一級建築士事務所
建築面積	15,214 m ²	確認日	2016年3月29日
延床面積	30,674 m ²	確認者	株式会社組東京本店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 67% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 67%

④上記+ 67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。		
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材を全面的に採用するなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓などに加えて、節水型便器などの省水型機器を用い、水資源を保護している。発泡剤を用いた断熱材等を採用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を67%とし、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される